

ご意見用紙

玄海原子力発電所に関する県民説明会

※この用紙は、記入後エントランスホールの回収箱にご投入ください。
 ※本日、回収箱への投入が難しい場合は、裏面記載の県内各地に設置しています県政提案箱にご投函いただくことも可能です。

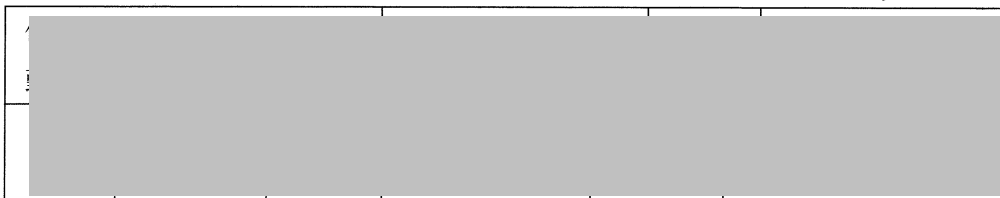
* なお、ご記入の前に裏面の<お願い>をお読みください。

| | |
|--|--|
| テーマ | ★該当する項目をチェックしてください（複数選択可）。 <input checked="" type="checkbox"/> エネルギー政策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力安全対策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力災害対策に関すること <input checked="" type="checkbox"/> その他 |
| ① 資源エネルギー庁の説明に対して：エネルギー基本計画における原子力の位置づけは、「安全性の確保を大前提に、エネルギー供給構造の安定性に資するベストな電源である」としているが、前提としての安全性の確保は、規制委員会も言っているように「完璧なもの」わけ、仮に世界一厳しい基準であっても事故の可能性はゼロにはできない、(人的ミスや想定外の出発点) として、万一事故発生時の影響が大きい(費用面や事故後の処理終了の期間も)と考える。そのリスクはとてむく下す。事故が発生したとしても、施設の維持管理、旧技術確認できない材料の再処理や高レベル放射性廃棄物の処分は加算(将来的に)費用を考慮し、より再生可能エネルギーへの転換をこの政策に舵を切らなければならないと思う。原子力は「夢のエネルギー」といふ事が明確なことから、 | |
| ② 説明会全体を通じて：説明の内容が率直で、理解しやすい、よからずい内容を根拠は「安全だ」「必要だ」と言われても納得はできず、県民は物別々の情報提供がなされているし、都合が悪い(不安はわかる)情報は出していないかと思う。=「不審感」。県民の安全が第一ならば、誰が安全と判断するのか? 県民の大多数が安全で感じているかどうかで判断を下す。 | |

会場名に○をつけてください⇒

唐津・武雄・佐賀・伊万里・鳥栖

0301k0002



私の結論は、再稼働に反対です。

原発推進の立場をとり、反対立場(不安に思っている人)の意見を出し合って一緒にどうすべきかを考えることが必要だ、県民がそのような場をつくることとあって努力はしている。政府や国の言っているように行政に判断を期待している。